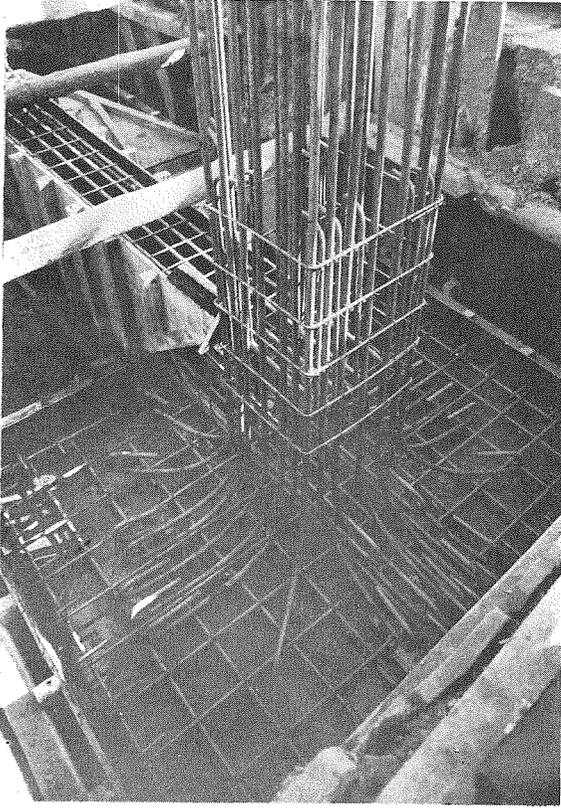
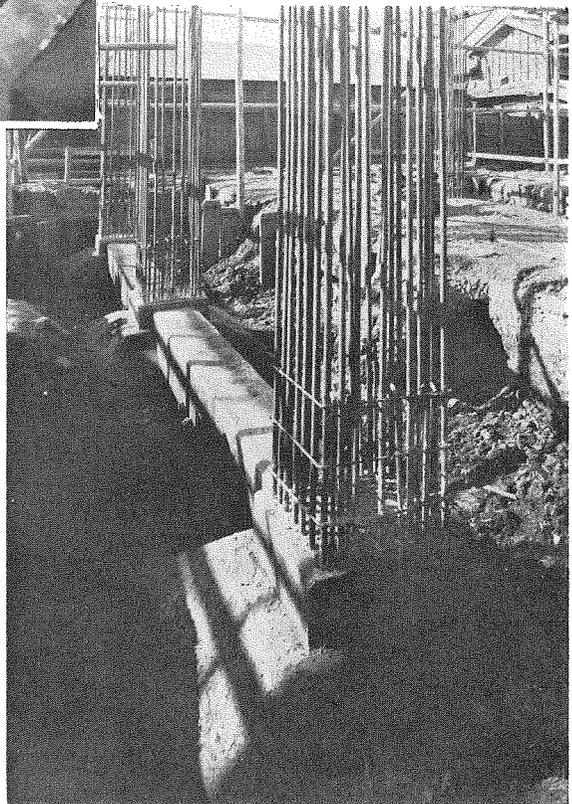


東京府第三建設事務所
 橋脚設計第八号
 昭和十四年十一月
 常務技師 藤田 正
 技師 藤田 正
 技師 藤田 正

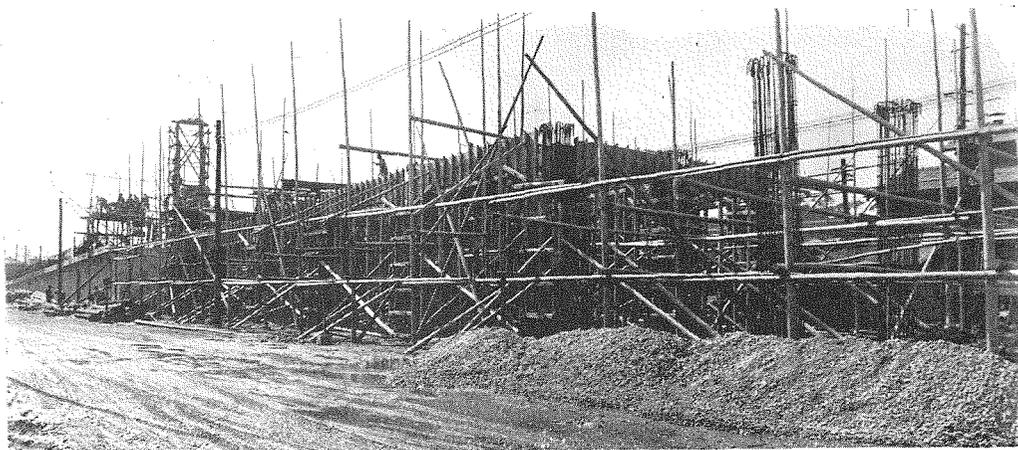
7. 高架橋ラーメン設計圖 (曲線部及伸縮縫目詳細圖)。



8. 脚柱基礎配筋狀況。



9. 脚柱基礎版緊結箇所型枠撤去後。

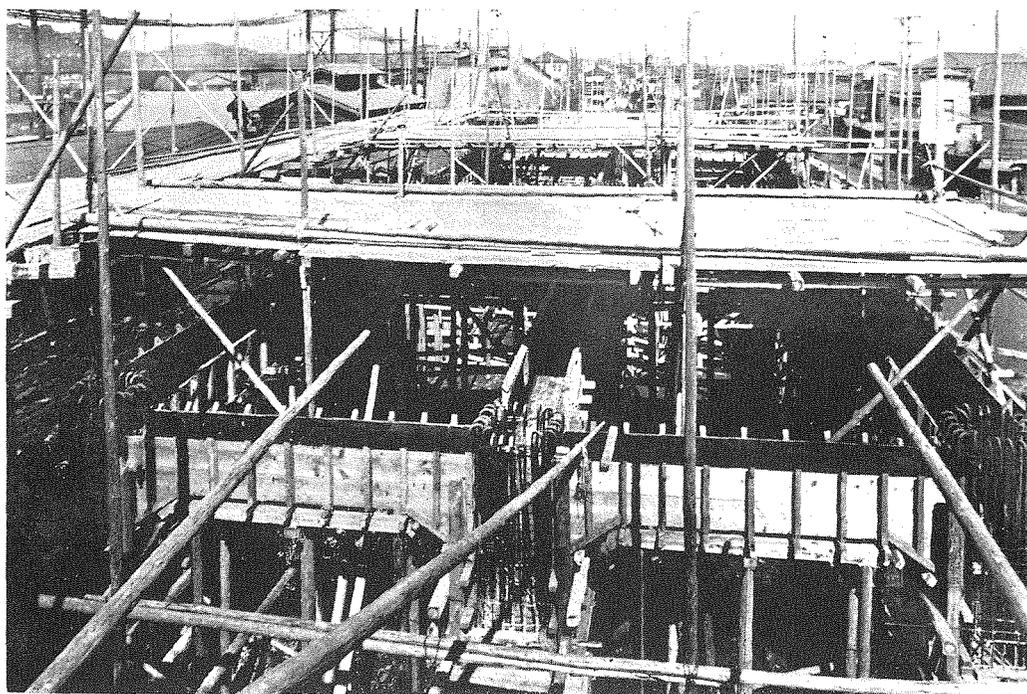


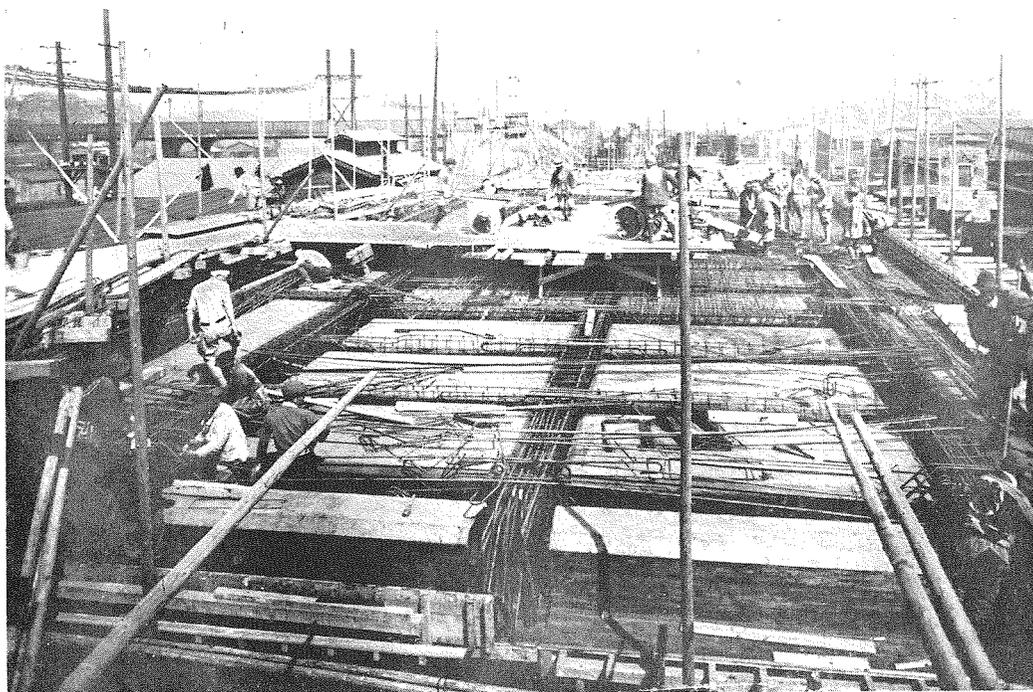
10. 橋脚1號～5號連續桁橋桁型枠組立實況。

脚柱コンクリート施工後、地盤上に角材を敷並べ、支保丸太を立て、頂部に角材を桁1本に付2列に置き鳥井型に組立て、其上に横断方向に角材を並べ丸太を立て床版及桁型枠を支持せしめ、丸太の下部には楔を2枚重ね合せ高低の調節を自由ならしめた。

11. 脚柱コンクリート施工足場組立状況。

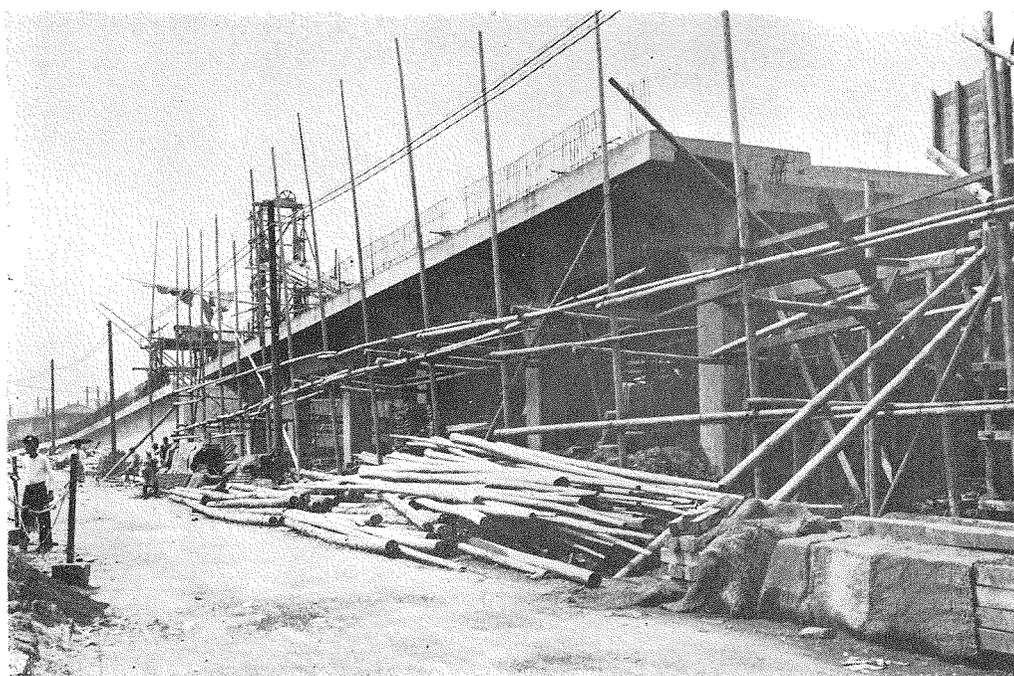
脚柱コンクリート打作業は施工箇所迄の運搬に猫車を使用时、脚柱型枠内に内径15㎝鋼製圓筒を垂下げ上部に漏斗を置き猫車より直接コンクリートを流下せしめた。1日の作業工程は脚柱6本限度とし、3本を交互にコンクリートの沈下を待ちつゝ施工した。コンクリートの立上り速度は1米に付40分程度であつた。

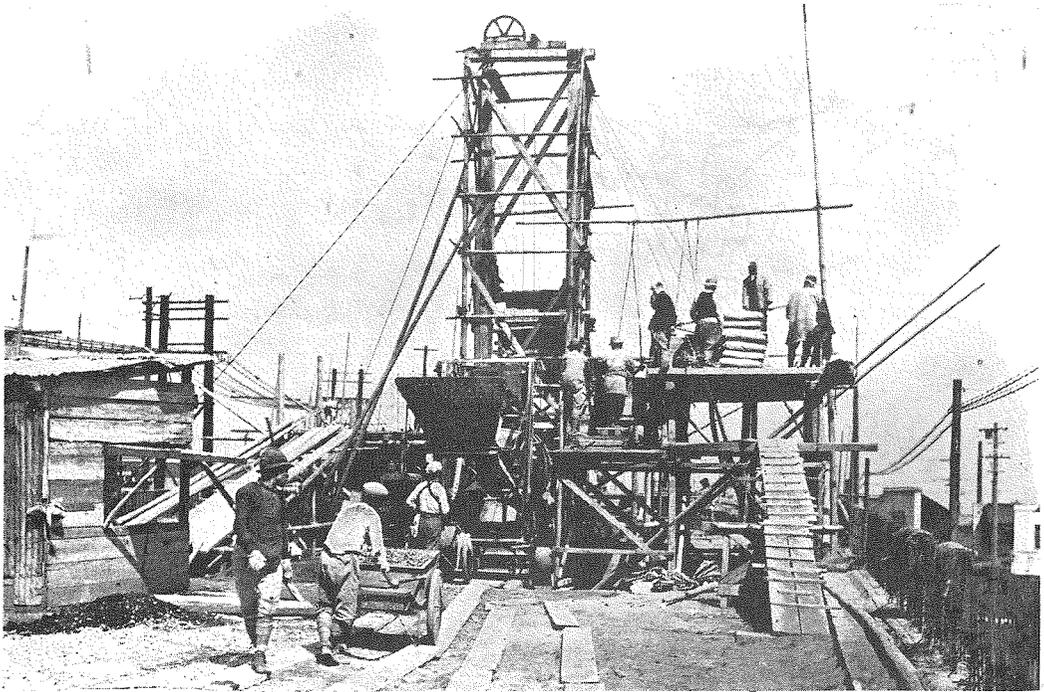




12. 連続框構、桁、梁及床版コンクリート作業實況（前側鐵筋組立作業）。

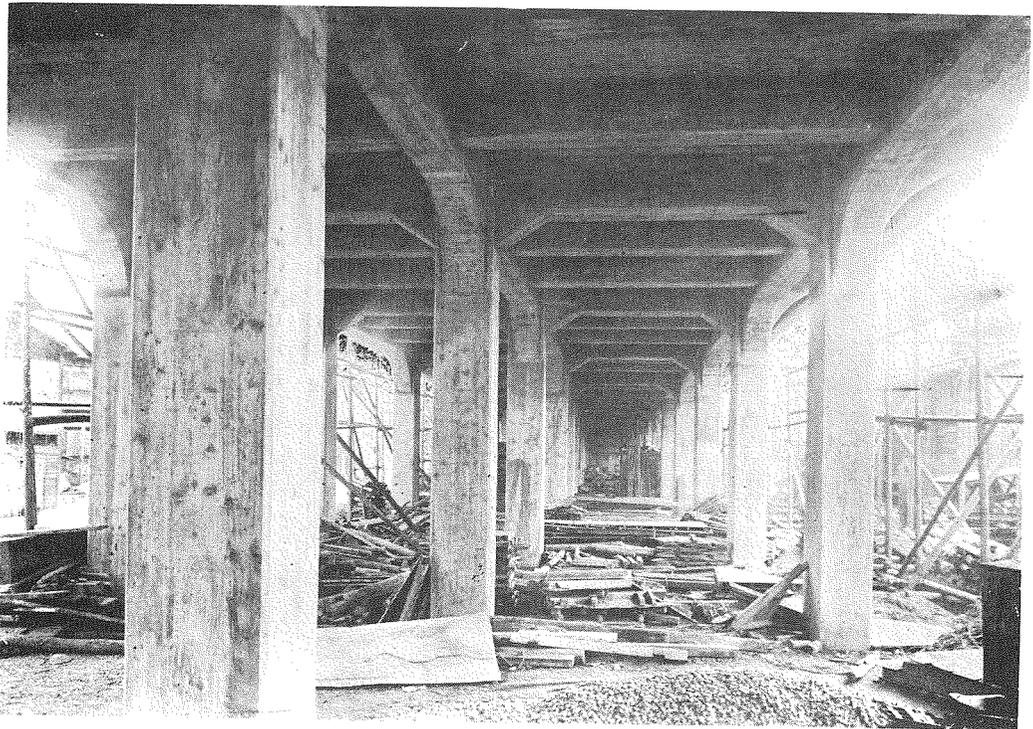
13. 橋脚 1號～6號 連続框構型枠撤去作業狀況。





14. 高架橋下部擁壁側を望む。

15. セメントペースト使用に依るコンクリート混合作業実況。



[15圖]高架橋にはセメント、ペーストに依るコンクリート混合方法を採用した。配合1:2:4の場合水セメント比65%、容器1回分ペースト量に対するセメント6袋、ミキサー投入セメント1.5袋分、ミキサー容量10切。
1分間混合、2分操作、練上容量1日50立米。

[16圖]50×120×240耗アスファルトブロック、アジロ型張り、曲線部は片勾配を附す。
ブロック張り作業能率、煉瓦工1人1日當り500枚位。

16. 橋面、車道部アスファルトブロック舗設實況。

